

検 定 意 見 書

受理番号 107-142		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	23	下囲み	Column 不審感を覚えたり	誤記である。	3-(2)	
2	32	下囲み	プログラムL22 kiroku=kiroku+r;+ ' '	不正確である。	3-(1)	
3	37	図2	キーボードのキー 左上：F G 右上：U 左下：I	不正確である。 (色がズレて複数のキーが着色されている。)	3-(1)	
4	43	中囲み	プログラム 2, 7, 8, 9, 26, 27行 microbit	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
5	45	図4	ロボットの目として活用 (以下 44ページ 18行 図4のAの箇所の 20行 図4のBの箇所を 45ページ	相互に矛盾している。	3-(1)	
			1行 図4のCの箇所を 3行 図4のDの箇所を)			
6	48	下囲み	memo コード 4512345678904	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (チェックディジットの値)	3-(3)	
7	50	下囲み	プログラムL2 #保存されるテキストファイル名	不正確である。 (「テキストファイル」)	3-(1)	
8	52	中	プログラムL8 action=' /post ' method=...	不正確である。 (空白と引用符)	3-(1)	
9	53	上	プログラムL4 fom datetime import datetime	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-142		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	53	中	プログラムL22 #変数htmlをutf-8の形式にする。	不正確である。 (htmlはもともとutf-8の文字列)	3-(1)	
11	57	表1	法律名 特定電機通信による情報の流通によって…	誤記である。	3-(2)	
12	63	章末資料4	対話型生成AIを使いこなすには、 … [初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン 2023年文部科学省]	最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)	
13	154	下囲み	Column右 平均値(\bar{X})と右から3番目のデータ	生徒にとって理解し難い図である。 (1つだけデータと平均値が線分で繋がっておらず理解しがたい。)	3-(3)	
14	158	右中	下表の最下行 非共有 非共有 多対多 双方向 SNS (以下 58ページ表1 右の最下行 非共有 非共有 多対多 一方向)	相互に矛盾している。	3-(1)	
15	169	中右下	量子化ビット数 データを何段階の数値で表現するかを示す値。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「何段階の数値で表現するか」が「段階数」を表すと誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-143		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返し2	右中	4章 2節 3 情報システム開発のプロセス 以下 122ページ1行目 3 システム開発の	表記が不統一である。	3-(4)	
			プロセス			
2	17	32 - 33	個人情報が入った物を廃棄する際の留意点②を決めるなど、 側注② 安全に廃棄する方法には次のようなものがある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (個人情報を廃棄する留意点についての側注が廃棄方法である。)	3-(3)	
3	24	27	アプトプット	誤記である。	3-(2)	
4	36	10	サインシステム	生徒にとって理解し難い表現である。 (「サインシステム」の説明がない。)	3-(3)	
5	37	1 - 2	国内では、サッカーの国際大会で、多くの外国人が訪れることを考慮して各駅がナンバリングされた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国内で最初にナンバリングされたのがサッカーの国際大会だったように読める。)	3-(3)	
6	40	17	読み聞かせ (聴覚)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「読み聞かせ」)	3-(3)	
7	46 - 55		2章3節 コンテンツの創造と発信 (全体)	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(2)のイの(イ)「情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、評価し改善すること」)	2-(1)	
8	48	10	ブレインストーミング 以下 57ページ2行目 ブレインストーミング	表記が不統一である。	3-(4)	
9	50	図5	ワイヤーフレームの例	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (側注1「Webサイトやアプリケーションの設計過程で使用される、レイアウトや構造を示すための図」に照らして。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-143		学校 高等学校		教科 情報		種目 情報Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	51	下囲み	p. 49の例題3で作成した「学園祭に関するWebサイト」を	生徒にとって理解し難い表現である。 (49ページでWebサイトを作成することは明示されていない。)	3-(3)				
11	53	15	オウンドメディア owned medeia	誤記である。 (medeia)	3-(2)				
12	68	側注3	第3四分位数に四分圏範囲の1.5倍を加えた値と、第1四分位数から四分圏範囲の	誤記である。 (「四分圏」)	3-(2)				
13	69	側注1	ひげの上端と下端は、それぞれ外れ値の境界を示している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「外れ値の境界」)	3-(3)				
14	69	側注2	例題1では、スーパーHの価格を外れ値として平均値の計算対象から外したが	誤りである。 (例題1)	3-(1)				
15	73	図2	企業の月別業績比較 縦軸 (第1軸, 第2軸)	生徒にとって理解し難いグラフである。 (縦軸が何を表す値かわからない。)	3-(3)				
16	78	囲み	表中の信頼区間 5.56239	不正確である。 (「5.56239」)	3-(1)				
17	84	側注1	図1の単回帰直線の式は、「 $y=1.1912x-0.3949$ 」となる。 以下 図1 単回帰分析の傾き	相互に矛盾している。	3-(1)				
18	84	表1	東京 202305 熱中症患者数 270 以下 86ページ 表2	相互に矛盾している。	3-(1)				
			東京 202305 熱中症患者数 176						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-143		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	92	11 - 19	①「スマホ利用」を58分以上で分類する。 ②「睡眠時間」を445分以上で分類する。 ③「スマホ利用」が40分以上で分類する。	生徒にとって理解し難い解答例である。 (特徴の値の根拠が分からない。)	3-(3)	
			以上の分類のルールに基づく決定木は、右図のようになる。この決定木を使うと、たかしさんは勉強に関して「好きではない」と分類できる。			
20	93	図6	ニューロン シナプス (出力)	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (出力箇所を誤解する。)	3-(3)	
21	93	図6	ディープラーニング 図右 ニューラルネットワーク	生徒が誤解するおそれのある図である。 (ディープラーニングを表す図として誤解する。)	3-(3)	
22	93	16 - 18	現在の状態に対し、「報酬」に従ってとるべき行動を学習する手法である。例えば、最少の手数で玉将を詰めることを目的とする「詰将棋」では、手数に応じて報酬を変える(手数が少ない	生徒にとって理解し難い表現である。 (コンピュータに対する「報酬」が分からない。)	3-(3)	
			ほどよい報酬とする)。 下図 吹き出し 今回は11手で詰ませた。でも、7手だともっといい報酬がもらえるから頑張ろう!			
23	97	18 - 20	クラスタの分け方の手順は、「Ⅰ任意の場所にK個の中心点を取る」、「Ⅱデータを最近傍の中心点と同じクラスタとする」、「Ⅲクラスタ内で中心点を更新する」、「ⅣⅡとⅢを繰り返す」となる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (クラスタの手順としての説明がわからない。)	3-(3)	
24	99	7	などといった方法がある。	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-143		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
25	105	表1	情報システムの開発・運用において配慮すべき事項	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (情報システムの開発・運用において配慮すべき事項が表内の事項のみに読める。)	3-(3)	
26	123	15	ウォータフォールモデル 以下 123ページ24～25行目	表記が不統一である。	3-(4)	
			165ページ右段下 ウォータフォールモデル 144ページ18行目, 20行目 ウォータフォールモデル			
27	123	図2	スパイラルモデル 要求定義	生徒にとって理解し難い表現である。 (「要求定義」の説明がない。)	3-(3)	
28	130	上囲み	<script src="script.js" defer>	生徒にとって理解し難い記述である。 (「defer」の説明がない。)	3-(3)	
29	131	5	schedule.txt 以下 schedules.txt 131ページ7行目	相互に矛盾している。	3-(1)	
			135ページ14行目, 17行目, 図4, 図6 137ページ下表, 下図			
30	131	5	selections.json 131ページ9行目 135ページ16行目, 18行目, 図5, 図6 137ページ下図	相互に矛盾している。	3-(1)	
			以下 schedules.json 131ページ図3 (3か所) 134ページ図3 (2か所)			
31	132	中囲み	<th>日程</th><th>人数</th><th>名前</th> 以下 図1 日付 人数 名前	相互に矛盾している。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-143		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			133ページ 図2 日付 人数 名前			
32	132	側注1	また、改行コードは、アップロード先のOSがWindowsのときはCR+LF、そのほかのOSのときはLFとする。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「CR」「LF」といった制御文字の説明がない。)	3-(3)	
33	133	1	style, css	誤記である。	3-(2)	
34	134	図3	schedule.py 以下 136ページ 1行目 schedule.py	相互に矛盾している。	3-(1)	
			schedules.py 131ページ4行目, 図3 (2か所) 135ページ図6 136ページ2行目, 5行目, 表2 137ページ4行目, 8行目, 14行目, 16			
			行目, 下表, 20行目, 側注①			
35	137	5	scripts.js (2か所) 以下 script.js 129ページ20行目, 24行目	相互に矛盾している。	3-(1)	
			130ページ1行目, 2行目, 3行目, プログラム内, 表1 131ページ図3 (3か所) 133ページ7行目 134ページ図3 (2か所)			
			135ページ6行目, 図6 136ページ1行目, 2行目, 4行目, 6行目, 表2 (2か所) 137ページ1行目, 3行目, 11行目 (2か所), 16行目, 20行目, 表, 側注1			
36	144	7 - 8	(3) 送信されるデータを暗号化することで、途中で盗み見られても内容を解読されないようにする。 164ページ解答	生徒にとって理解し難い問題である。 (何が解答になるかわからない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-143		学校 高等学校		教科 情報	種目 情報Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			(3) 暗号化			
37	147	右下囲み	プログラム例9 ②もし変数aの値が60以上ならば 以下 156ページ右下囲み プログラム例9	不正確である。	3-(1)	
			②もし変数aの値が60以上ならば			
38	149	上囲み	プログラム例13 ②for(let i = 1; i < 7; i++){ ②はじめに変数iに0を代入。	相互に矛盾している。	3-(1)	
39	150	下囲み	プログラム例20 ②let b = a.replace('@', '巻紙'); ③console.log(b); ②変数aの「@」を「巻紙」に置き換	不正確である。 (プログラムの説明として。)	3-(1)	
			えて変数bに代入 ③変数bの値「赤巻紙青巻紙黄巻紙」 を表示			
40	161	下囲み	メソッド・プロパティの exit() …～	不正確である。 (「exit()」)	3-(1)	
41	162	右段中	24-25行目 なお、例題6のCONFIDENCE.Tは、信頼 区間の幅を求める関数である。	不正確である。 (CONFIDENCE.T関数は信頼区間の幅を求めない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。